

No	3	分類	2-(2)-ア	資料名	だいこんとにんじん	学年	3年	領域	道徳	2-(3)
----	---	----	---------	-----	-----------	----	----	----	----	-------

1 ねらい

- みかけや言動にとらわれず、個性や違いを認め合い、尊重し合ってありのままを受け入れようとする態度を身につける。

2 趣旨

- 個性や能力は、一人一人違いがあり多様である。外見上の違いによって、笑ったり、ばかにしたりすることが相手の心を傷つけ人権を侵害する行為であることを理解させたい。
- 日常の学級において個々のよさや違いが認められ、尊重される学級の風土を培っていくことが大切である。

3 展開例

学習内容	指導上の留意点
1 「だいこん」と「にんじん」の特徴について考える。	・だいこんとにんじんの違いについて考えさせることにより、他の人とは違うところや自分らしさ等の特徴があることに気づかせる。
2 「だいこん」が「にんじん」を笑った時の気持ちについて話し合う。 「だいこん」は、どんな気持ちで「にんじん」をわらったのでしょうか。	・小さいな。 ・ちょこちょこ動き回っているな。 ・顔が赤いから酔っぱらっているみたい。 ・だいこんにんじんになってロールプレイをし、だいこんの心情に迫らせる。 ・色や形が違うことから、外見や特徴に対しておかしいと思っていることに気づかせる。
3 「だいこん」が「にんじん」に笑われた時の気持ちについて話し合う。 「だいこん」が「にんじん」に笑われた時、どんな気持ちだったのでしょうか。	・早く帰りたいよ。 ・ばかにするな。 ・「にんじん」も、こんな嫌な気持ちだったのかな。 ・笑った時と笑われた時の気持ちの違いに着目させ、自分たちが笑った時、にんじんがどんなにいやな思いをしていたかを考えさせる。
4 日常生活を振り返り、自分の在り方について考える。 身の周りの人とどのようにすごしていきたいですか。	・学校や家庭で ・家庭で ・地域で ・学校や家庭、地域など、さまざまな場面をイメージさせ、具体的な自分の生き方や在り方に迫らせたい。